

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 文化活動環境の充実
-----	-------------

施策主管課	文化課	総合計画記載頁	114ページ
-------	-----	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	10 個性的な市民文化・都市文化を創造する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の誇りである地域の文化が市民の手により生まれ、受け継がれるとともに、市民の文化活動が活発に展開され、本市の顔となる魅力的な文化が創造・発信されています。
------	------------------------	----------------	-----------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

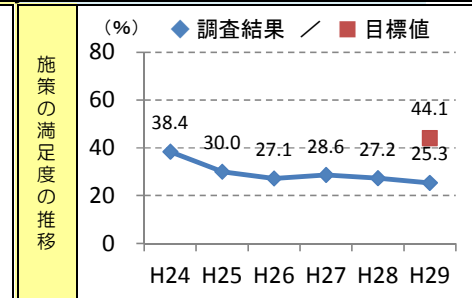
施策目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。
------	-------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価			
	指標1	市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数(人)	単年度目標値	134,000	137,000	139,000	140,000	140,000			140,000	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	38.4%	30.0%	27.1%		28.6%	27.2%	25.3%
現状値			130,187人	実績値	129,300	126,998	126,392	132,647	137,532	140,393	目標値(H29)				44.1%	前年度からの増減	-8.4pt	-2.9pt	1.5pt	-1.4pt	-1.9pt	
目標値(H29)			140,000人	単年度の達成度	96.5%	92.7%	90.9%	94.7%	98.2%	100.3%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)							B				
指標2	文化会館自主事業参加者数(人)	単年度目標値	94,200	94,200	94,200	94,200	94,200	94,200	A	【参考】 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	/			
		現状値	85,635人	実績値	92,542	95,488	111,045	102,230			41,932	115,089	中核市平均	38.9	36.53	34.95	31.31	31.42		34.47		
		目標値(H29)	94,200人	単年度の達成度	98.2%	101.4%	117.9%	108.5%			44.5%	122.2%	実績値	22.8	31.6	24.77	22.02	23.46		21		
単年度目標値	/	/	/	/	/	/	/	/	中核市での本市の順位		14位/41市中	22位/41市中	15位/42市中	14位/42市中	14位/45市中	17位/48市中						
現状値	/	/	/	/	/	/	/	/	中核市平均		/	/	/	/	/	/	/					
目標値(H29)	/	/	/	/	/	/	/	/	実績値		/	/	/	/	/	/	/					

※指標2「H28単年度の達成度44.5%」は、文化会館の大規模改修工事に伴う休館による減

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 国は平成27年5月に文化芸術振興基本法に基づき、今後を見通した「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次)」を策定し、重点的に取り組むべき施策として、「文化芸術に対する効果的な支援」、「文化芸術を創造し、支える人材の育成や子どもなどへの文化芸術振興策の充実」などを掲げるとともに、平成29年6月に文化芸術振興基本法を「文化芸術基本法」として一部改正し、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、福祉、教育などの関連分野における施策を本法の範囲に取り込み、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用しようとする方針を打ち出している。 平成27年に本市が実施した市民アンケートの結果においては、環境整備の必要性について、子どもが芸術や文化財、地域の伝統芸能に親しむ機会の充実を求める回答が70%を超えている。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 指標1については、市民芸術祭、ジュニア芸術祭ともに参加者数が伸びており、これまでの継続した取組に対して認知度が高まってきていると考えられる。 指標2については、リニューアルオープン記念事業の実施や大規模改修工事によるホール音響特性の向上等が参加者数増加の要因と考えられる。 	市民満足度	東日本大震災や景気の長期的な低迷等により、市民の関心が文化芸術に向けられにくかったことや、文化芸術の鑑賞や活動に関する情報が市民に十分行き届かなかったことなどが、満足度の低下傾向に影響しているものと考えられる。
		総合評価	概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	市民芸術祭共催事業負担金	★	市民芸術祭の円滑な開催	市民芸術祭実行委員会	市民芸術祭の開催及び運営	計画どおり	7,248	S55		芸術祭の活性化や若い世代の取り込みを図るため、平成31(2019)年度の40周年に向けて、実行委員会に設置した「市民芸術祭40周年記念事業プロジェクト委員会」を核に、節目に相応しい記念事業の検討や、これを契機とした今後の芸術祭のあり方について検討を進めていく。 また、実行委員会に設置した「市民芸術祭メディア芸術部門検討委員会」を核に、本市にならではのメディア芸術事業について検討を進めていく。
2	ジュニア芸術祭共催事業負担金	○★	ジュニア芸術祭の円滑な開催	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	ジュニア芸術祭の開催及び運営	計画どおり	3,700	H11		市民への認知度をさらに高めるとともに、各部門の垣根を超えた子どもたちの交流や芸術活動の場の拡充をめざし、20周年記念事業を効果的に活用し、更なる機運の醸成を図る。
3	文化協会事業補助金		文化芸術事業の推進	市文化協会	文化協会の実施する文化事業経費の補助	計画どおり	1,380	S54		文化協会を通して伝統文化芸術の継承を図るとともに、若い世代の文化芸術への関心や理解を深めることのできる「文化協会まつり」等の教育普及事業に対し補助を実施する。
4	文化会館整備事業	○★	良好な文化活動環境の維持	市民、文化会館	計画的で適正な施設整備	計画どおり	5,601	S54		第1期改修工事の検証・評価を行い、課題を明確にしたうえで、第1期改修工事における調査資料等の活用や現状評価を踏まえ、第2期改修整備方針を取りまとめる。
5	宇都宮エスペール文化振興事業	★	芸術家の育成・支援	今後の活躍が期待できる宇都宮市にゆかりのある芸術家、市民	エスペール賞の授与とプロポーション事業を隔年で開催。受賞者には受賞後3年以内に成果発表の機会を提供	計画どおり	420	H13	独自性	平成30年度のホール部門の選考にあたっては、選考委員の人選や選考方法の検討などに計画的に取り組み、将来性のあるアーティストの育成支援に取り組む。
6	文化会館管理運営事業	○	舞台芸術鑑賞及び発表の場の提供	市民、文化会館	施設運営(施設管理、事業実施)	計画どおり	268,036	S54		本市の文化振興拠点施設として、会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、教育普及事業をはじめとした、さらに良質かつ魅力的な事業実施に努めるとともに、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に積極的に取り組んでいく。
7	美術館管理運営事業		美術作品鑑賞の場の提供	市民、美術館	施設運営(施設管理、事業実施)	計画どおり	405,605	H9		学芸員の幅広い専門知識やスキルを更に活かし、特にこれまで収集した6,724点のコレクションを活用した魅力ある常設展の開催や、過去に実施した大谷石や宮染めなど本市の資源を活かし地域や産業界を巻き込んだ館外プロジェクトの企画、自然豊かな文化の森に立地する特色を生かした、デザインと自然科学的な要素を結び付ける事業の企画等に計画的に取り組むとともに、ミュージアムショップやレストランと連携した事業展開による美術館の満足度向上に取り組む。 また、さらなる美術館の利用促進の観点から、他事業との連携などを検討していく。
8	芸術文化団体派遣補助金		全国大会出場団体の支援	全国大会出場団体	出場にかかる交通費の一部を補助	計画どおり	100	S62		全国レベルの団体との交流は活動の活性化やレベルアップにつながり、本市の芸術文化の向上に寄与することから、引き続き、広報紙や市ホームページで周知を図るとともに、需要の把握に努め、必要に応じて制度の拡充を検討していく。
9	美術館整備事業	★	良好な作品鑑賞環境の維持	市民、美術館	計画的で適正な施設整備	計画どおり	17,638	H9		平成29年度に実施した施設劣化診断及び改修手法等調査の結果を踏まえ、改修・整備箇所の優先度を更に精査し、今後、備えるべき機能の検討と併せて施設整備方針を策定し、計画的かつ着実に整備を進める。また、整備スケジュールの検討にあたっては、東京オリンピック(2020年度)や美術館開館25周年(2021年度)、とちぎ国体(2022年度)などの好機を生かせるよう、美術館事業との調整を図りながら進める。
10	公益財団法人うつのみや文化創造財団運営費補助金		公益財団法人うつのみや文化創造財団の適正な運営	公益財団法人うつのみや文化創造財団	組織運営の支援	計画どおり	75,896	H14		財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため、平成29年度から組織体制を再編し新たなスタートを切ったところであり、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むとともに、文化会館と美術館を合わせたスケールメリットを生かした連携事業や、市民全体に波及する事業の実施に取り組んでいく。また、平成30年度末には、プロパー職員4人が退職することから、年齢構成や専門性向上等の観点を踏まえた適切な職員採用を行う。

4 今後の施策の取組方針

課題	今後の方向性
	方向性
<p>◆市民の文化体験及び活動のための環境づくりや情報発信の充実 市民が、暮らしの中で文化鑑賞や活動に取り組み、より豊かで充実した生活を過ごせるよう、気軽に学んだり鑑賞や活動ができる環境づくりを進める必要がある。 また、宇都宮の誇るべき文化や様々な文化活動情報に市民が自在に触れることができるよう、文化に関する情報発信を充実させる必要がある。</p> <p>◆文化を支え、担える人材の育成・活用 次代の宇都宮を築き、新しい価値を創造しうる幅広い視野を持った人材を持続的に育成できるよう、文化を支え・担う人材の育成を推進するほか、文化を先導する人材が、その力を活かし、新たな文化の創造や次世代の人材育成に携わることができる仕組みや環境づくりを行う必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉 ◆平成28年3月に策定した「第2次宇都宮市文化振興基本計画」に基づき、「文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進」、「文化をつなぐ人材育成の推進」に向けて、民間及び関連部署等と連携しながら市民芸術祭やジュニア芸術祭の活性化を図るとともに、文化施策推進(文活)プロジェクトを積極的に推進し、うつのみや文化創造財団を核とした民間の文化芸術活動も含めた情報発信や市民の文化活動を社会全体で支援していく仕組みの検討のほか、美術館・文化会館における教育普及事業や質の高い芸術文化の鑑賞機会の充実などにより、市民満足度の向上や市民の主体的な文化芸術活動を一層促進する取り組みを推進する。 ◆市民により快適な文化芸術の鑑賞や活動の場を提供するため、美術館・文化会館の効果的・効率的な施設整備を推進する。</p> <p>〈主要事業〉 【ジュニア芸術祭】 ・2020年東京オリンピックや2022年本県国体の開催において文化芸術の振興に力を入れる機運を活かし、ジュニア芸術祭20周年記念事業(2018年)や関連性の高い市民芸術祭40周年記念事業(2019年)の実施を契機に、各部門の垣根を超えた子どもたちの交流や芸術活動の場の拡充など、市民の文化芸術に対する興味関心や取組意欲をさらに高めながら文化芸術活動の一層の振興を図る。 【文化会館整備事業】 ・文化会館の効果的・効率的な維持管理に資するため、第1期改修工事の検証や関係資料を最大限に活用し、第2期改修工事の整備方針を取りまとめるとともに、中長期的な整備について検討する。 【その他個別事業】 【市民芸術祭】 ・市民芸術祭の認知度向上や若い世代の取り込みのため、メディア芸術部門の創設について検討するとともに、平成31(2019)年度の40周年に向けて相応しい記念事業やこれを契機とした今後の芸術祭のあり方についての検討を進めていく。 【美術館整備事業】 ・平成29年度に実施した施設劣化診断及び改修手法等調査の結果を踏まえ、改修・整備箇所の優先度を更に精査し、今後備えるべき機能の検討と併せて施設整備方針を策定し、計画的かつ着実に整備を進める。</p>